

トクチオン細粒剤 F

登録番号：第18130号

性状：類白色細粒及び微粒 180~710 μ m

有効成分：プロチオホス（PRTR・1種）3.0%

有効年限：4年

作用機構分類：殺虫剤分類 1B

包装：3kg×8袋

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
ねぎ	ネダニ類	9 kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布及び株元灌注は合計3回以内)
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	6 kg/10a	植付時		全面土壌混和	3回以内 (仮植床植付時の土壌混和は1回以内)
らっかせい	ヒョウタンゾウムシ類	6~9 kg/10a	は種時	2回以内	土壌表面散布後土壌混和	2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)
		9 kg/10a	生育期 但し収穫60日前まで			
らっきょう	ネダニ類	6 kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和	1回
ごぼう	ヒョウタンゾウムシ類 ネキリムシ類	9 kg/10a	は種前		播溝土壌混和	6回以内 (播溝土壌混和は1回以内、土壌表面散布は1回以内、散布及び株元散布は合計4回以内)
		6 kg/10a	は種時~出芽前		土壌表面散布	
			収穫30日前まで	4回以内	株元散布	
にら	ネダニ類	6~9 kg/10a	定植時	1回	全面土壌混和 又は 植溝土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、株元灌注は1回以内)
にら(花茎)					植溝土壌混和	1回
さとうきび	ハリガネムシ類	9~15 kg/10a	植付時	2回以内	株元処理 土壌混和	2回以内 (植付時の土壌混和は1回以内)
	メイチュウ類	15 kg/10a	生育期 但し収穫90日前まで			
かんしょ	ネコブセンチュウ ハリガネムシ類	9kg/10a	植付前	1回	植溝又は作条土壌混和	4回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
	コガネムシ類幼虫	6~9kg/10a				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオホスを含む農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	9 kg/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
つつじ類		6～12 kg/10a	植付時	3回以内	全面土壌混和	
		12 kg/10a	生育期 (発生初期)		土壌表面散布後土壌混和	
きく	ネコブセンチュウ	12 kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	
	アザミウマ類	6～12 kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	
ひのき	コガネムシ類幼虫	9～12 kg/10a	植付時 又は 生育期 (発生初期)	3回以内	植付時: 全面土壌混和 生育期: 土壌表面散布後土壌混和	
花き類・観葉植物(きく、宿根かすみそう、れんげ(緑肥用)を除く)	アザミウマ類	12 kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	
れんげ(緑肥用)	アルファルファタコゾウムシ	6 kg/10a	開花前	1回	散布	

[特長]

- * さとうきび、かんしょ、らっかせい、ごぼうなどに発生する広範囲の害虫に優れた効果を示すトクチオンを土壌害虫用として使いやすくした薬剤です。
- * コガネムシ類幼虫・ヒョウタンゾウムシ類・ネキリムシ類など土壌害虫に優れた効果を示します。

[使用上の注意事項]

- * 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- * カラー及び花はずに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用后14日間は入水しないこと。
- * ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - (2) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - (3) 関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- * 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

[安全使用上の注意事項]

- * 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- * 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- * かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- * 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- * 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- * 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理すること。
- * 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

治療法…本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されている。